

Ⅲ. 組織基盤の強化

(1) 効果的な広報・PR活動の実施

○機関紙「大商ニュース」の発行

本会議所の活動を広報するとともに、経営に役立つ情報を会員に提供するため、機関紙「大商ニュース」を20回発行した。「千客万来都市 OSAKA プラン」に関する事業や新中期計画「たんと繁盛 大阪アクション」を特集した。また、会員の事業参画を促進するため、事業利用会員の生の声を掲載した「使ってよかった！大商の事業」や「大商のビジネスマッチング事業～ご利用会員の声で紹介」を連載したほか、会員企業を紹介する「がんばる大商の会員さん」「初めまして！新入会員です」「会員情報プラザ」「日本一明るい企業情報」等を連載した。

○Eメールを活用した広報(大商メールステーション)とホームページでの情報発信

企業や個人の関心事項に応じて本会議所事業を効果的に案内するため、「大商メールステーション」を運営し、Eメールを配信した。ホームページでは、本会議所事業をタイムリーに紹介・案内した。

[成果・実績]「大商メールステーション」の登録者数は1万8,449人、ホームページの年間総ページビューは1,040万4,613件になった(URL=http://www.osaka.cci.or.jp)。

○大阪活カグランプリの実施

大阪のチャレンジ精神、パイオニア精神の発信・高揚を目的に、大阪の産業・地域経済に貢献した法人・団体・個人を会頭名で表彰する「大阪活カグランプリ」を実施した。マスコミ各社からなる選考委員会、本会議所役員・議員から推薦があった32候補から、選考委員会で7件に絞り込んだ上で投票を行い、12月にグランプリを選出した。

[成果・実績]グランプリに「EXPOCITYと市立吹田サッカースタジアム」を選出し、12月の会員交流大会で表彰した。



12月、大阪活カグランプリ2016に「EXPOCITYと市立吹田サッカースタジアム」を選出し、表彰した。

(2) 3万会員の回復・維持

○会員増強運動の推進

会員増強推進本部と会員増強推進特別委員会のもと、安定的な3万会員体制を目標とする指針「会員増強の新たな展開」に沿って、会員増強運動を展開した。具体的には、事務局の会員訪問や、「新入会員の集い」、部会・支部での新入会員おもてなし活動を実施したほか、入会案内ウェブサイトの刷新や、本会議所の事業紹介動画の作成、WEB媒体への広告出稿等、情報発信を強化した。さらに、地域の信用金庫や保険会社、団体会員の協力を得て、入会勧誘に取り組んだ。

[成果・実績]新規加入件数3,509件に対して、退会件数が1,000件あり、平成28年度末の会員数は、前年度比2,509件増の3万828件になった。新規加入件数の内訳は法人会員1,287件、団体会員42件、個人会員1,571件、特別会員609件。期間満了に伴い、会員増強推進本部と会員増強推進特別委員会は3月に活動を終了した。

○会頭の支部・企業訪問

尾崎裕本会議所会頭は、支部や会員企業を訪問し、現場の関係者と意見交換した。具体的には、黒門市場や千日前道具屋筋商店街(4月・中央支部)、ワイヤーロープ加工業者(6月・西支部)、古民家再生プロジェクトに取り組み蒲生四丁目界限(6月・東支部)、キャラクターコンテンツを活用したインバウンド振興に取り組み団体(7月・南支部)、金属・樹脂の精密加工会社(7月・北支部)等を視察するとともに、支部長・副支部長らと各地域の状況について懇談した。また、2月には製造企業3社を訪問し、大阪のものづくり産業について懇談した。

[成果・実績]会員企業等18か所を訪問した。



6月、尾崎裕本会議所会頭と西川典男本会議所西支部長は、ワイヤーロープ加工業者を訪問した。

○会員訪問活動の実施

事業利用の促進と本会議所への満足度調査を目的として、入会歴の浅い会員や事業利用のない会員を主対象に会員訪問を実施した。併せて、本会議所事業への意見を収集し、事業運営に反映するとともに、講演会・セミナー・交流会等の参加及びサービスの利用を促進した。

[成果・実績]事務局職員の会員訪問件数は4,164件。平成15年度から実施している会員訪問活動による訪問累計件数は、延べ59,248件に達した。また、会員の平均満足度は5段階で3.71となった。

③ 組織基盤の強化に向けた交流促進

○女性会の活動

本会議所会員企業の女性経営者の資質向上と会員相互の交流を目的に、女性会会員自らが講師として経験を発表する「経営事例発表会」(2回)や視察研修会、各地女性会との交流・懇親事業等を実施した。また、6月に年次総会を開催したほか、広報誌を2回(6・12月)発行し、活動をPRするとともに、会員増強に取り組んだ。さらに、熊本地震被災地の早期復旧・復興を支援するため日本商工会議所へ義援金を寄託した。

[成果・実績]会員数は220人になった。「経営事例発表会」には179人、視察研修会には42人が参加した。熊本地震の義援金として30万円を寄贈した。



6月、本会議所女性会通常総会を開催し、約140人が出席した。

○定例見学会の開催

会員企業の経営者・経営幹部を対象に、企業・工場の見学や、見学先代表者・経営幹部の講話を通じて、見聞を広げ研鑽と交流を深める場として定例見学会を開催した。

[成果・実績]リサイクル工場、ガス製造所、検体検査メーカーの見学会を3回開催し、延べ80人が参加した。

○定例朝食懇談会の開催

本会議所役員・議員を中心に会員企業の経営者・経営幹部を対象に、早朝の時間を活用した定例朝食懇談会を開催した。

[成果・実績]経済情勢、モノづくり、観光、企業経営等幅広い分野から講師を招聘、10回開催し、延べ998人が参加した。